

私立大学図書館協会 2026 年度第 1 回常任幹事会議事要録

日 時 2026 年 4 月 10 日（金） 13 時 00 分 ～ 14 時 00 分
会 場 関西学院大学 Web 会議 Zoom
出 席 者 名簿のとおり

進行は難波功士会長（関西学院大学図書館長）が担当し、議事に先立ち、会長より接続確認を兼ねて出席確認を行った。また、議事録作成のため Zoom でレコーディングさせていただく旨の説明があった。

[報告事項]

1. 協会会務報告

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 1～2）に基づき報告があった。

2. 東地区部会会務報告

東地区部会長校（中央大学・渡来）より、配付資料（p. 3）に基づき報告があった。

3. 西地区部会会務報告

西地区部会長校（福岡大学・上島）より、配付資料（p. 4～6）に基づき報告があった。

4. 委員会報告

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 7）に基づき報告があった後、国際図書館協力委員会の実施事業である国際図書館協力セミナーアーカイブス視聴期間延長の視聴者数等について、西地区監事校（国際図書館協力委員長 中部大学・高木）より補足説明があった。

5. 協会関連事項報告

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 8）に基づき報告があった。

6. 2026 年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 9～11）に基づき報告があった。

7. 2026 年度行事・会議予定

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 12）に基づき報告があった。

[協議事項]

1. 2025 年度事業報告（案）

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 13～17）に基づき説明があり、協議の結果、提案のとおり承認された。また、本件は第 1 回東西合同役員会の協議事項ならびに総会の報告事項となる旨の補足説明があった。

2. 2025 年度一般会計・特別会計決算（案）

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 18～21）に基づき、2025 年度第 2 回東西合同役員会開催時の中間報告からの修正箇所、財産目録ならびに監査報告書について説明があり、協議の結果、提案のとおり承認された。また、本件は第 1 回東西合同役員会の協議事項ならびに総会の審議事項となる旨の補足説明があった。

3. 2026 年度事業計画（案）

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 22～23）に基づき説明があり、協議の結果、提案のとおり承認された。続けて、西地区監事校（国際図書館協力委員長 中部大学・高木）より、(3) 協会委員会活動の推進（p. 23）③国際図書館協力委員会で記載の「海外認定研修」の研修先について、中東情勢の影響により、欧州からオーストラリアへ変更する方向で調整中であり、改めて加盟校宛てに案内予定である旨の報告があった。また、本件は第 1 回東西合同役員会ならびに総会の審議事項となる旨の補足説明があった。

4. 2026 年度一般会計・特別会計予算（案）

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 24～26）に基づき説明があった後、西地区監事校（国際図書館協力委員長 中部大学・高木）より、(2) 特別会計②国際図書館協力特別会計において、前項にもあるとおり、海外認定研修先の 1 つである欧州はオーストラリアへ変更の予定であるが、海外認定研修補助費は予算内に収まる可能性が高い旨の補足説明があり、協議の結果、提案のとおり承認された。また、本件は第 1 回東西合同役員会ならびに総会の審議事項となる旨の補足説明があった。

5. 第 87 回（2026 年度）総会・研究大会（案）

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 27）に基づき説明があり、プログラム中の協賛企業 PR に関する質疑応答の後、協議の結果、提案のとおり承認された。

6. 2027～2028 年度協会役員校（案）

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 28）に基づき説明があり、協議の結果、提案のとおり承認された。また本件は第 1 回東西合同役員会の協議事項ならびに総会の総会議案となる旨の補足説明があった。

[懇談事項]

1. 会報の電子化について

会長校（関西学院大学・服部）より、前期の活動報告ならびに西地区における検討課題などから、会報の電子化による会報業務の負担軽減を望む声が複数あり、今期中に何らかの方向性を次期役員校に示したく意見を伺いたい旨の経緯説明があった。各校からは、以下のとおり、意見、検討課題が出され、これらを踏まえ、東西各地区の役員会においても、改めて意見聴取することとなった。

・会報中の演録・資料は、学術情報として扱われており、CiNii Research で記事検索が可能

であるが、協会 HP の加盟校限定ページに PDF を掲載するだけでは検索サービスに収録されないことになる

- ・電子ジャーナル化し、J-STAGE などから公開することは可能だが、業務の省力化になるとは言い難い側面がある
- ・検索サービスへの収録を諦めても、負担が減るのであれば、協会 HP に PDF を掲載するだけでよい
- ・会報中の会議録は協会 HP から公開し、講演録のみを冊子化するだけでも負担軽減をはかれる
- ・当面は協会 HP への掲載と、冊子化を平行して様子見してもよい
- ・アンケートで加盟校に対し意見聴取するのも一案だが、方針のない状態でアンケートを取っても收拾がつかなくなる可能性がある
- ・冊子体への強い拘りのある図書館もありそうだ
- ・形態はともかく、協会としても成果物の蓄積という側面がある
- ・東海地区協議会で刊行している『館灯』が J-STAGE に掲載されており、作業量などを調査してはどうか
- ・電子化＝省力化ではないため、経費を掛けてでも業者に業務をもっと任せる方向で検討すべきではないか
- ・PDF を協会 HP に掲載しただけでは公開性が後退してしまうが、電子ジャーナル化する場合でも、冊子体発行以上の負担が増えないようにするべきではないか
- ・過去の刊行分については国立国会図書館デジタルコレクションからコンテンツも公開されており、その点も考慮した方がよい
- ・講演録の冊子化については、総会・研究大会当番校の負担も発生するため、その点も考慮した方がよい
- ・偶数号ではスライド資料のみを掲載している講演もあるが、果たしてこれにどこまで意義があるのか

[連絡事項]

1. 2027～2028 年度委員会委員および協会関連団体委員の選出について
会長校（関西学院大学・服部）より、東西部会長校あてに改めて依頼するが、早めの対応をお願いしたい旨の説明があった。
2. 2025～2026 年度活動報告書の提出について
会長校（関西学院大学・服部）より、今期の活動、課題等を報告書にまとめ、来年 3 月の第 2 回東西合同役員会の資料とするため、東西部会長校、委員会委員長あてに改めて依頼の予定である旨の説明があった。

[資料]

1. 東西役員校・当番校一覧
西地区部会長校（福岡大学・上島）より、これまで西地区部会総会の資料として掲出してきた委員会委員選出校および会報担当校の輪番表を追加した旨の説明があった。

2026年度 第1回常任幹事会 出席者名簿

(2026年4月10日 (金) 13:00～ Web会議)

	役員名	議決権	大学名	職名	氏名
1	会長校	○	関西学院大学	図書館長	難波 功士
				事務部長	尾木 紹学
				運営課長	高島 祐子
				専任参事	服部 耕一郎
				事務局	戎 久仁子
2	東地区部会長校	○	中央大学	図書館長	三浦 俊彦
				図書館事務部長	永野 努
				図書館事務部副部長	工藤 邦弘
				図書館事務部担当課長	渡来 達也
				図書館事務部総務課	西澤 美香
3	西地区部会長校	○	福岡大学	図書館長	佐藤 伸
				図書館事務部長	上畠 宏美
				学術情報課長	陣内 千佳子
				学術情報課長補佐	尾崎 可奈子
4	東地区監事校	○	明治学院大学	図書館次長	渡辺 麻夕子
				図書館資料管理課	鈴木 直子
5	西地区監事校	○	中部大学	事務部主事	高木 秀明